合との活動が直ぼ充分に分化してゐないこと其のために組織農民と未組織農民との対立が充分克服されてゐないことが各処で出てゐる。一般党員に対する不断の教育事業の不足が痛感される。

(6) 財政（略）

(7) 暴圧に対する抗争、私察隊の活動、干渉違反の告訴等相当の活動を見たが大衆的抗議運動の組織は充分成功してゐない。しかし東京等の都市に於ては力強い抗議運動の組織を見た。

(8) 候補者並に立候補地の選定。候補に対する消極的遠慮の態度があった。災されて重要地の占領に於て失敗した。斗争の経験なき人物を公認したことは誤りである。所謂輸入候補に関しても、更に考慮すべきである。候補者は不断に其の地方の斗争に入り込んでゐることが必要である。

(B) 候補

(1) 我が党は候補に対する他党幹部の誠意を期待したものではなかったが、結果に於てはそうなってゐる。地盤候補に全努力を傾倒したこと、社会民主の義に対する党員大衆の断乎たる批判を発揮せしめなかったこと等は失敗の最大なるものである。

(2) 地方的候補問題は之亦た地盤候補等に注意を集中したる共同斗争委員会の方向へ発展させることに成功しなかった。ただ無産党よりの立候補なき処に於て比較的良好成績をあげてゐる。勿論不充分ながら他党大衆と斗争の間に於て接触する大小の機会を得たことは無駄ではなかったが候補の問題を大衆斗争の最も強力な発展によって解決せんとする努力の足りなかったことは社会民主々義に対する批判の放棄を導く危険なる傾向と云はなければならない。

(C) 立候補者なき地方の運動

(1) わが党より立候補者として他党候補を支持して斗かった処ではある程度の共同斗争を遂行し得て我が党の影響力の拡大大衆組織の拡張に於て見るべきものがあったが批判の自由を自から放棄したことは上述の如く失敗である。

(2) 無産党の立候補なき地に於ては、ブル政党の暴露排撃干渉、違反等の乱弾に於て相当共同斗争を展開し得た日常斗争の特に活潑なる展開無き為、投票を棄権せしめたことは なほ警戒すべき必要がある。

(D) 投票日以後の斗争